2025年11月５日　インフルエンザ脳症について

こんにちは！もりもりキッズアレルギークリニックです。

今回はインフルエンザ脳症についてお話しようと思います。

🧐そもそもインフルエンザ脳症とは？
インフルエンザに罹患すると、発熱後～24時間の間に意識障害や痙攣を引き起こすことがあります。一般的には熱せん妄や熱性けいれんと呼ばれる、高熱に伴う異常症状が多いです。
しかし、その中で、高熱に伴う症状ではなく、ウイルス感染によって脳に炎症が起き、炎症の影響で脳がむくんだ状態になり、脳内の圧力が上昇し、圧迫されて脳がダメージを受けることによって引き起こされている場合があります。
それがインフルエンザ脳症と呼ばれるものです。
年間100～300人が発症し、死亡率は５%です。

🧐見極めるポイントは？対応はどうするの？
正直なところ、見極めるのはとても難しいです。意識障害や痙攣があっても、インフルエンザ脳症だとは限りません。おかしいな？と思ったら受診して、様子を見ましょう！

痙攣→まずは嘔吐の可能性を考え、体を横に向けます。痙攣の時間を計り、５分以上の痙攣や５分以内でも２回以上繰り返す痙攣ははすぐに救急車を呼びましょう。痙攣の様子を動画に取っておくと状況を説明しやすいです。

意識障害→呼びかけに応えない、起きてもすぐに寝てしまう、ウトウトし続ける事があります。すぐに病院を受診しましょう。

異常行動→支離滅裂な事を言っている、幻覚が見えている、夢遊病の様に無意識下で動き回る、といった症状が出ることがあります。怪我をしないように周りの危険物や角等危険になりそうなものはどかしておきましょう。鍵はしっかり締め、簡単に開けられないようにしておき、目を離さないように注意してください。

🌟サインを見逃さず、相談する事が大切です！おかしいな？と思ったら相談してください！

これから乾燥する季節となり、インフルエンザもどんどん活発になってきます。手洗いうがい、マスクで感染予防をしっかりしていきましょう✨😷